

中島総長先生の授業に参加して、たいへん感銘を受けました。私は福祉専門職支援室で国家試験対策班の事務局をしております。3月15日の国家試験合格発表の速報の取りまとめを行い、関係する教職員の先生方に東京福祉大学の結果を報告させて頂いております。

一人でも多くの受験生が合格することを願っている一人です。従って、今回の授業、受験生の気持ちになって見学させて頂きました。

総長先生が授業担当教員に、事細かくまさに手取り足取り、教員に教授法を指導していたことが強く印象に残っております。それは、「ポイントだけに集中して、学生に暗記させる。教員は色々なことを教えたいが限られた期間・時間の制約のある中で、学生も色々なことを教えられても頭の中が整理しきれないので、肝になることをビシッと教えることが肝心である。」ということをお繰り返して説かれました。授業の中で、タイムリーに総長から指導を受ければ、教員も実践の場での指導であるので、決して忘れないと思います。このようにきめ細かく指導された総長先生に感服いたしました。学生もその指導を聞いて、さらに良く授業が理解できたのではないのでしょうか。確認テストのことも促していましたが、とにかく、その授業で覚えきるといふ姿勢を説いていたのだと思います。とても大切なことであると思います。

それから、下線を引く箇所の指示だしや書いてあることをすべてでなく、量を少なくして学生が混乱しないように、ポイント絞って教える。という基本的な教授法の指導をオンラインで、私自身が見学できたことは喜びであります。

このような学生に寄り添った学生のための授業を今後も全教員が実践していけば、国家試験の合格率は上がるものと思います。

事務局をつとめます福祉専門職支援室としましては、今後も国家試験対策班の先生方が授業により集中できるように、学生への国家試験対策講座の案内等の様々な事務処理に迅速性を持ってあたって行きたいと考えます。

本日授業に参加できたことにあらためて感謝を申し上げます。